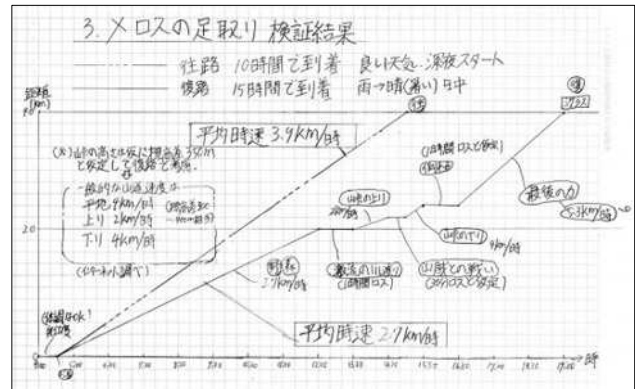




問いを立てる力

「メロスは激怒した」という衝撃的な書き出しで始まる「走れメロス(作:太宰治)」は、中学2年生で学習します。国語の授業で「走れメロス」を読み進める際には、メロスはさまざまな誘惑をどう乗り越えたのか、何のためにメロスは戻ってきたのかなど、描写を基に心情を読み解くことが多いですが、2014年に理数教育研究所が開催した「算数・数学の自由研究」作品コンクールに入賞した「メロスの全力を検証」という中学2年生の研究には、このようなことが書かれていました。

メロスが時速何キロで走っていたのかを「走れメロス」の記述を頼りに算出します。例えば、往路の出発は「初夏、満天の星」とあるので0時と仮定、到着は「日は既に高く昇って」「村人たちは野に出て仕事を始めていた」とあるので午前10時と仮定します。距離を時間で割った平均速度は、時速3.9キロ!また、復路は、野や森を進んだ前半は時速2.7キロ、山賊との戦い後、死力を振りしぼって走ったとされるラストスパートも時速5.3キロと、思った以上にゆっくりしていたことが判明したということです。この速さはどの程度のものかと言いますと、私が自宅から岡崎駅までの約2kmを25分かけて歩くペースが時速4.8キロ……。メロスは全力で走っていないどころか、歩いていたということになります。



中学生が調べたレポートの一部

その一方で、「空想科学読本」等の著書で有名な柳田理科雄氏は、メロスが刑場へ向かう直前の「沈みゆく太陽の10倍の速さで走った」という記述に注目します。舞台のイタリアのシラクスは北緯37度。地面は時速1300キロで西から東へ動いています。メロスはこの10倍の速さで走っているため、その速度は時速1万3000キロ、マッハ11という結果を導き出しています。「沈みゆく太陽の～」の件は比喩表現と捉えるのが通常ですが、先程の中学生の考察とは真逆の結果が提示されているところに面白さを感じます。しかも、どちらも文章中の描写を基に考察されたものです。「メロスは時速何キロで走ったのか」という問いが秀逸であったが故に、多様な考えが示されたと言えるでしょう。

今や知りたいことの大半は、インターネットで調べることができます。知識の伝達だけであれば、もしかすると学校は不要なのかもしれません。しかし、生徒自身が問いを立て、本気になって解き明かそうと追究すること、みんなで意見を交わしながら自身の考えを深めていくためには、学校が重要な役割を担っていると考えます。

授業は、教師が教えるべきことを一方的に教授する場でもなければ、生徒が一方的に知識を享受する場でもありません。それぞれがきちんと頭を働かせ、教師は授業で生徒に何を学ばせたいのか、生徒は授業で何を解き明かしたらよいかを考える場です。大きな行事が終わり、通常の生活に集中できる今の時期にこそ、「なぜ」「どうして」と、問いを立てて学ぶことを大切にしていきたいと思います。

3年生修学旅行

令和6年5月21日（火）～23日（木）



国会議事堂の見学



「ふるさと」合唱指導

これからも「最高地点」に向かっていくために

私はこの修学旅行で今まで全く知らなかったことを多く知ることができました。その中にはうれしいことも、少し不安になることもありました。今回学んだことは社会に出たときにとっても必要になるものだと思います。数年後、社会人として働くときに今回の修学旅行のことを思い出し、意味あるものにしていきたいです。修学旅行中の生活ではもっと気をつける必要があると思った場面が何度かありました。それらは、日々の学校生活や外での過ごし方にも大きく関係していると思うので、今回気になったことは忘れずに今後も意識していきたいです。

私はまだなりたい職業や夢がありません。その時々立てた目標（最高地点）を一つずつ達成していきたいです。その中で大きな夢や目標を見つけていきたいと思います。少しずつでも仕事に関わることや修学旅行中に気になったことを調べ、夢をもち、そこに向かってこれからも努力していきたいです。

（3-4 ）



楽しさの最高地点



浅草寺 雷門前で



おいしさの最高地点



スカイツリーで



チームラボで



サンシャイン水族館で

2年生職場体験学習

令和6年5月21日(火)～
5月23日(木)

2年生173名が、65の事業所に分かれて3日間の職場体験学習を行いました。

<体験先 ジェットスキーJSP>

1日目から大きな声であいさつをしました。が、もっと出せると思ったので、さらに声を大きくしました。すると、少し自分の中の考え方が変わったような気がしました。ちょっと明るくなったような気がして、あいさつだけでも変わるのだなと実感しました。…3日間毎日、朝の掃除をしました。店員の方は、細かいところや人目につかないところまできちんとしていました。お店の雰囲気をよくしたい、お客様に喜んでもらいたい、そういう意識の高さをいろいろな場面で見ることができました。僕は、これらは中学校生活の中でもやれることだと思いました。…この貴重な体験を、何となくで終わらず、考えながら理解をしていくことで、将来に深くつながっていくと思いました。

(2-4)

<体験先 わしだ保育園>

2日目は心にも余裕が生まれ、保育士さんが何をしているかを観察できました。この日は、散歩へ行くことになりました。保育士さんは散歩中に公園のマナー、歩くときのルールを教えていました。私たちにとっては当たり前のことだけど、それは命を守るルールだと実感できました。3日目は最終日なので、「職場体験を手伝ってくれた人に感謝を伝える」が目標でした。この3日間いろいろなことを体験できたのは裏でいろいろな人の手助けがあってからこそだと思いました。この3日間とても充実できる時間を過ごすことができました。私もこんなふうに誰かのために、誰かの未来のために一生懸命頑張れる職につけるように、今のうちからできることをしていきたいと思いました。

(2-3)



<体験先 すずき接骨院>

デイサービスでは、耳の不自由な方には大きな声でしゃべり、体の不自由な方は足を持ち上げたり、支えて歩いたりしなければいけません。それが、学年目標の「思い遣る」にもつながると思います。接骨院では、診察券を受け取って、名前が書いてある紙を探し、その人の名前を呼ぶところまでやらせていただきました。受ける側とやる側では全然違いました。僕たち働いている側は座って休む時間はありませんでした。それだけ「働く」ということは大変なことなのだと思います。少し看護師やトレーナーの仕事への興味が増しました。人の役に立つために頑張っている先生たちの姿はとてもカッコ良かったです。僕もいつか必ず働くと思うので、今回の職場体験をいかして、進路などを考えられるといいです。

(2-5)

1年生学年の日

令和6年5月21日(火)

今日は一日、とても楽しめました。私は実行委員ではありませんでしたが、「心」を遣う場面がたくさんありました。KouFes やアピール大合戦では、自分たちの努力の成果を発揮できました。この日のために全員で努力してきたので、学年の日は良い日になりました。他のクラスの子とも交流したり、クラスで協力したりすることもできて本当に良かったです。(1-2)

学年目標「心」について、杉浦先生は「心は目に見えない。相手の気持ちを考えて動くこと、心遣いは目に見える」とおっしゃっていました。小学校のときは「自分が」という、相手があまり良い気持ちにならないことがあったから、これからは「心」を大切に一日一日を過ごしたいです。(1-3)



1年生 学年の日
学年集合写真

顕彰記録

『幸田町中学校春季体育大会』

【団体成績】

○ソフトボール部	優勝
○ソフトテニス部男子	優勝
○バレーボール部男子	優勝
○バレーボール部女子	優勝
○バスケットボール部女子	優勝

【個人成績】

○ソフトテニス部男子	第2位
○卓球部 石川 侑弥	優勝



<第33回西三河中学校弓道大会>

男子団体 準優勝
個人 準優勝

<第6回東愛知中学生弓道大会>

男子個人 第2位

<令和5年度岡崎市民卓球ダブルス大会>

中学生男子の部 優勝

<岡崎市中中学生強化リーグ>

男子の部 Aクラス 第3位
Bクラス 第3位

<第3回岡崎幸田中学校軟式野球ルーキーズ カップ>

優勝

<西三河中学校春季陸上競技大会兼国体[®]選手 選考競技会>

中学女子四種競技 第3位

<第60回全三河卓球選手権大会>

男子 団体 第2位

<第75回岡崎・幸田市民中学校ソフトテニス 選手権大会>

男子の部 第3位

<第48回西三河中学生女子ソフトボール春季 大会兼愛知県中学生女子ソフトボール選手権 大会西三河予選会>

第3位

<第64回岡崎市民剣道大会>

中学1、2年男子の部 第3位